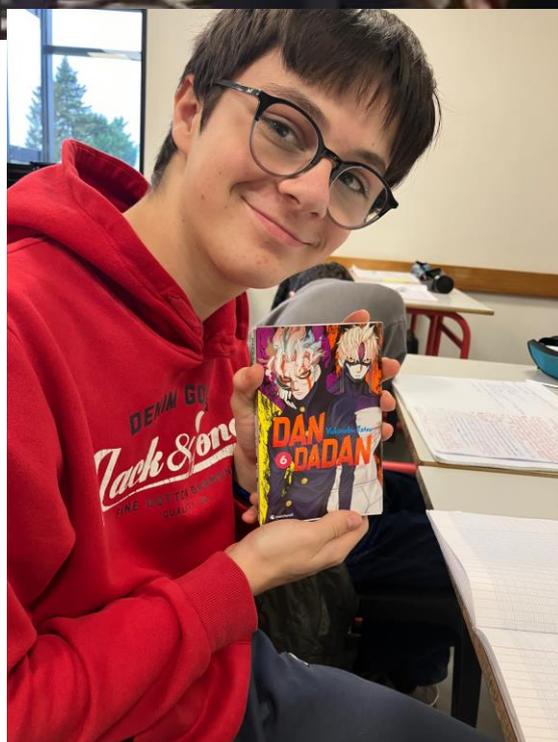


フランス留学体験記 vol.2

相木奏太



～フランスでの生活、3ヶ月を過ぎて～

こちらに来てもう3ヶ月が経ってしまいました。時間の流れる速さに驚いています。フランスでの生活はよりスムーズになってきています！基本的な質問やそれに対する応答は完璧とは言いませんが、お互いに困らない程度なので、普通の会話ができる感じです。しかし、家で使う言葉と、学校で使ったり本に載っている言葉はまるで違うので、話すのはできるのですが、学校の勉強などになると急に弱くなるのが今のところ難点です。気候とかの話をする、派遣されている地域がフランスの真緯度のため、日本と同じくらいの寒さで雪も降っていません。そのため特に体調を崩したりなどもしてないです。AFSの同期の子とかのInstagramでは雪が沢山降ってる地域があったり、真夏の国のところもあったりと面白いです。みんなどこかの日を境に雪が降った気がします。(そこで風邪ひいてる人が多々見られました。)

～クリスマスについて～

フランス語では、クリスマスのことを「Noël」といいます。なのでメリークリスマスの日には「Joyeux Noël！」と言ってお祝いをします。ホストファミリーがカトリックを信仰しているため12月24日の夜に教会に行きました。少しお話を聞いたあと、急にみんな立ち上がって聖歌を歌い始めたので、一緒に立って歌いました。「ハーレーレーヤー」とか、日本でも聞いたことがあるような言葉が出てきたりもして、日本よりもより強い「宗教感」というものを感じました。とても楽しかったです。その後に夜ご飯を食べたのですが、いつもよりも豪華でした。住んでいるところが海に近い為、普段はあまり食べない牡蠣やエビなどの海産物や、世界三大珍味とも言われる「フォアグラ」(Foie gras)、「Bûche」と呼ばれる薪のような形をしたケーキを食べたりしました。もちろんどれも絶品でした！次の日の朝にクリスマスプレゼントを貰い、その後お昼にホストファミリーの両親達も集まってお食事会をしました。その際にフランス料理で有名な「escargot」を食べました！日本人は苦手な人が多いイメージですが、フランスでも好きな人より苦手な人の方が多いようです。味も食感も、日本の貝と似たような感じだったので普通に美味しかったです。

～語学について～

1ヶ月が過ぎた後、フランス語で会話をする上で単語力不足を痛感しました。文法はある程度わかっているけれど、単語が分からず、文を上手く組み立てれないという日が続きました。そこでノートを使って毎日新しい単語を学ぶということを始めました。そのうちの全てを覚えている訳では無いのですが、単語力が上昇して、誰かと会話をする時や本を読んだりする時など、色々な場面で以前よりも理解力が上がった気がします。何度か文を読んだ際に、「発音が上手だね！」と褒められてとても嬉しかったです。語学という点、考え方や行動といったあらゆる面においても、毎日努力をすること、継続は大事だなと思いました。3年生の方々は受験期だと思います。体調に気をつけて頑張ってください。それに関係なく1、2年生の方々も自分の進む道を見つけ、それに向けての努力を頑張ってください！